

出島 Dejima

ユニオン差別を許さない支援共闘会議
長崎市恵美須町 2-5 サンロイヤルⅢ202
郵政ユニオン九州内
電話&Fax 095-828-1953

NO 4 2011/7/30

県労委闘争が次回・8/26から公開審理へ

松江支部長の強制配転、組合事務所貸与などで不当労働行為救済を求めている県労働委員会闘争は、3回の調査（争点整理）を終え、次回、8月26日（金）の第4回審問から証人が採用され、公開審理となります。

これまでの争点整理では、松江支部長の配転が不当労働行為に当たるか。配転理由としている「10年超同一職場勤務者の異動条項」の是非。組合事務所では会社が言う「地下古紙置き場以外に場所がない」が事実かどうかなどを争うこととなります。

県労委は、事務所貸与は県労委斡旋に基づき会社も応じており、場所の問題だけが争点であることから、こちらを先に審理したいとして、関連証人の決定を求めました。そこで組合は向井支部書記長を証人とすることを決めました。次回8月には彼が証言を行います。



非正規正社員の不採用はユニオン差別であると意見陳述

県労委の第1回調査の中でユニオン九地本の山本委員長が「非正規契約者員の正社員登用でのユニオン全員の不合格は差別である」と意見を述べました。今回の県労委では諸事情から具体的な争いとしては提訴事項とはなっていませんが、7月に行われた月給制社員登用試験（契約社員では最上位職）でも、ユニオンは採用がならず、ユニオンを組織脱退した人が採用されるという差別的事態は変わらず続いています。これ以降、今期の試験でも同様な事態が続けば、新たな提訴を視野に闘いの準備を進めます。以下、山本委員長の陳述内容を記載します。

「4、正社員登用試験での差別排除を求める。」

私は、昨年会社が出した非正規社員21万人のうち6,5万人正社員登用試験での、長崎の特異的な事実を述べたい。この試験に事業会社長崎支店と長崎郵便局会社に働く、ユニオン組合員21名が受験したが、全員不合格となった事実である。これは全国平均でもあり得ない現象であり、差別は明白である。21名中8名は一次試験を合格しており、その2次合格者の登用率は全国で6割であることからしても、登用者ゼロとは不当な差別と言わざるを得ない。これは会社のユニオン敵視の結果である。今回は具体的提

訴事項とはしていないが、差別の証明として明らかにしたい。今後とも、これが続くようだと、新たな提訴も視野に入れ、正社員登用制度の透明性と公平性担保と正常化を求めたい。」

国鉄闘争の終結で地域との関係

6月30日、鉄建公団訴訟原告団などの4者4団体が「JRへの雇用を断念」し、組織を解散し、国鉄闘争が24年間の闘いに幕を引き、終結しました。この全国的な組織解散を受け、長崎の支える会も7月20日、第103回幹事会を開催し、闘争終結と組織解散を決定しました。地域の闘いとしては、この支える会もユニオン差別を許さない支援共闘会議へ移行しつつ、ともに今後とも闘っていくことが確認されました。なお、終結の報告は機関紙ジャステス最終号で行われました。



さらに原告団が闘争終結の謝礼としてユニオンなどへ贈呈した金額のうち、30万円を7月22日に長崎地区労へ贈呈しました。今後とも地域の仲間との共同の闘いを継続していきます。

全国で支援を拡大へ

支援共闘会議は2月の結成以降、組織支援を拡大中です。団体では7月現在、47団体となり、個人賛同人も138名となりました。支援共闘会議としては、これ以降も賛同人を募集していきます。前号以降の支援団体参加は、40 郵政労働者ユニオン近畿地本吹田千里分会、41 郵政労働者ユニオン岡山支部、42 郵政労働者ユニオン香川支部、43 郵政労働者ユニオン呉支部、44 郵政労働者ユニオン大阪西支部、45 郵政労働者ユニオン神奈川支部、46 郵政労働者ユニオン関東地本、47 郵政労働者ユニオン埼玉支部です。（記載漏れの方ご連絡ください）

●その他の報告

1、九電と話し合いを求める。全九電同友会。

3・11原発事故を受けて、九電内で働いている人や退職者で作る全九電同好会は、8月1日に長崎支社と話し合いをもつ。事故以降も電力総連は「原発維持」を決めており、電力労働者内部でのこうした動きは極めて異例のことであり、やらせメールの発信源でもある、九電本社の結果が注目されます。

2、ユニオンの現状

郵政労働者ユニオンは7月8日～10日広島で定期全国大会を開き、来年7月に郵産労との組織統一を決めた。この中で長崎からは山田中執の退任を受け、高口美和子さんを後任として推薦し、大会で決定された。女性で非正規職員という厳しい現実を、仲間との連帯と差別解消に向け頑張られる彼女の活躍に期待します。ぜひ全力で応援したい。



※ 編集後記

書中お見舞い申し上げます。
いよいよ県労委で証人が出て、公開審理だ。ユニオンも支援共闘会議も全力で取り組みたい。（中島）